

議会広報広聴特別委員会次第

日時 令和5年1月13日（金）

午前10時開議

場所 第3・4委員会室

1 開会

2 議題

(1) 市議会だより第182号校正会議について

(2) 議会報告会の見直しについて

(3) 次期委員会への引き継ぎ事項について

(4) その他

ア 次々回の委員会開催日程について

イ その他

3 閉会

令和 年 月 日

議会報告会班会議協議事項(1班(総務))

1班メンバー
野村 誠、西尾 段、坂巻 儀一、植田 和子、加藤 啓子、海老原 功一、森 亮二

1 開催日時

令和4年5月15日(日) 9時30分 ~ 11時30分

2 開催会場 **文化会館 講義室** (※一時保育用にはひだまりルーム・和室を確保済み)

3 各班テーマ

(
○
○
)

テーマの内容と数は、各班で自由に設定。

4 役割分担

- ◎班長 ()
- 司会 ()
- 書記 ()
- 受付 ()
- 写真 ()
- ◎感染対策係※()
- 班テーマ説明者 ()
- // 資料作成者()

◎がついている役割については、事務局との連絡調整のため必須で設置。
それ以外の役割については、各班で自由に設置。

- ◎報告書作成者()
- アンケート事務局提出者 ()
- ◎市議会だより掲載原稿作成者()

※感染対策係とは・・・

議会報告会当日の感染対策と、後日、会場内に新型コロナウイルス感染症の感染者・濃厚接触者がいたことが判明した場合に、中心となってご対応いただく係です。

議会報告会 班構成・開催回数に関する主な意見

資料1-2
(R5.1.13 広報広聴)

【班構成について】

	メリット	デメリット
常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■班を構成しやすい。 ■所管事項に対する視察、決議、意見書などに取り入れやすい。 ■政策提案を共同で行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域課題にどの程度答えられるのかという課題がある。 ■テーマを設定しやすい委員会と、そうでない委員会がある。
地区ごと	<ul style="list-style-type: none"> ■地域ごとに地元の議員が集まれば、対応が円滑になる。 ■(班の構成人数の都合により、地元でない地区の班に所属した議員がいた場合)なじみの薄い地域の多様な意見を聞く機会となり、市政全体の政策的な課題を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■しがらみのような、どうしても地域における強い政策的な主張に影響を受けてしまい、全市的な視点で本当にその政策が正しいかどうかを判断しづらい。 ■班員の人数や男女比に偏りが出てしまう。

【開催回数について】

	メリット	デメリット
年1回	<ul style="list-style-type: none"> ■議会報告会の準備に十分な時間を確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市議会として市民から意見を聴く機会が減る。
年2回	<ul style="list-style-type: none"> ■市議会として市民から意見を聴く機会が増える。 ■議会改革度ランキングの中で、議会報告会の回数は重要な項目になっているため、年2回の開催により議会改革度を維持できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■議会報告会の準備時間を十分に確保できない。

令和4年12月14日

議会広報広聴特別委員会
委員長 森田 洋一 様

議会運営委員会
委員長 海老原 功一

流山市議会ICT推進基本計画実施計画の見直しに伴う議会
広報広聴特別委員会への申し送りについて

このことについて、流山市議会ICT推進計画実施計画の見直しは2
年に一度、議会運営委員会において行うこととされており、今般の見直
しに際し、貴特別委員会の所管事項に関わる分野についても、委員から
提案があり、本委員会において、議論を重ねてまいりました。その結
果、下記の項目については、実施計画への位置付けを行った上で、貴特
別委員会において、具体的な検討をお願い致したく、申し送りますの
で、ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- ・市役所第1庁舎1階ロビーにおける委員会中継の実施
- ・議会案内板の電子化
- ・SNSの公式アカウントの有効活用の研究・検討
- ・オンライン議会報告会の実施が可能となるよう実施要綱を整備する。